

第5学年国語科改善学習指導案

公開授業2
授業者 千葉 智子

- 1 単元名 説明のしかたの工夫を見つけ、その意図を考えよう
学習材名 「天気を予想する」(光村図書5年)

「意図」という言葉の難しさ。教科書に出てくる言葉ではあるが、取り上げる際、吟味が必要である。

2 単元について

(1) 学習者について

児童は、第4学年において、「大きな力を出す／動いて、考えて、また動く」「ウナギのなぞを追って」等において、事実と考えを区別して読んだり、段落相互の関係を考えながら読む経験をしたりしてきている。「ウナギのなぞを追って」では、写真・図表・地図などと文章を対応させて読む経験をしたりしている。また、第5学年では「見立てる／生き物は円柱形」において、筆者の主張を読み取り、文章構成に着目して要旨を捉え、自分の考えを明確にしながらかく読むことを学習してきた。

児童は、文章構成(始め・中・終わり)を捉え、筆者の主張を探しながら読もうとするようになってきている。しかし、筆者の論の進め方を捉えたり、その工夫や効果を見つけて理解したりすることについては、まだ経験が少ないのが現状である。

(2) 学習材について

本単元では、「筆者の説明のしかたの意図を考える」言語活動を通して、表やグラフなどの各種資料と文章を結び付けて読み、その効果や意図を考慮することや、書き手が自分の考えをより適切に伝えるために、どのように論を進めているのかをとらえる資質・能力を高めていく。

本学習材「天気を予想する」は児童にとって身近でありながら、その仕組みはよく知られていない天気予報を題材にした「読むこと」を中心とした教材である。全体を覆う1つの大きな問いは存在せず、1つの問いに対する答えの中から新たな問いが生まれ、問いと答えが3回繰り返される構成になっている。読み手の思考の流れに沿いながら、自分の主張へと近づいていく文章構成になっている。また、筆者は表やグラフ、写真を用いて自分の意見の理由付けをして、説得力のある説明をしている。これらのことから、児童が興味を持って読み進めたり、文章の構成や資料を使うことの意図や効果について理解したりする学習に適した教材である。

本単元で身につける資質・能力は、文章構成、図・表・グラフ・写真と対応させて読むことと、筆者の文章構成の意図を考え、説明の工夫を捉えることである。日常生活において児童が目にする文章には、図や表などの資料と結びつけて読むものが少なくない。算数や社会等、他教科においても必要とされる読む力だと考えられ、学習の広がりが期待される。

(3) 指導に当たって

第1次では「つかむ」段階として、生き物は円柱形の説明の工夫と比べながら本文を読み、説明の仕方の工夫を探す。それらの工夫が筆者の考えを明確にしているのか、その工夫にはどんな意図があるのか考える学習をすることを確認し、「筆者の説明の工夫を見つけ、その意図を考える」という単元のゴールを示し、学習計画を立てる。

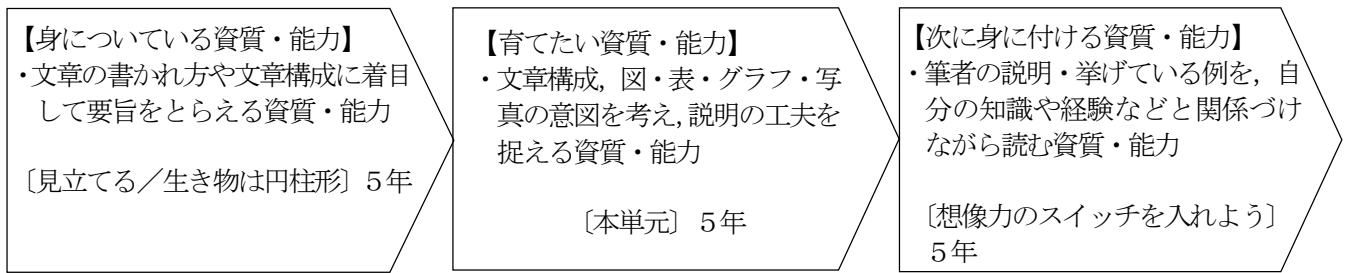
第2次では「きく・あらわす」段階として、説明の工夫を見つけ、その意図を考えて行く。本学習材の説明の特徴として、数値を用いての説明、表・写真・図・グラフを用いての説明、問いと答えを繰り返して、3つの事柄を述べて行く論の進め方が挙げられる。これらの説明の工夫は、筆者が自らの考えを読み手に伝えるため、意図的に用いられている。筆者は自分の考えを明確にするため、説明の工夫をしているのだが、なぜその資料を用いたのか、なぜ問いと答えを繰り返して3つの事柄を述べているのか、その意図を考える。

第3次では「いかす」の段階として、筆者の説明の仕方の工夫や論の進め方について自分の考えをまとめる。見つけた工夫を自分だったらどんな場面でそれらを活用できそうか考え、交流していく。

3 単元の指導目標と評価規準

	指導目標	評価規準
国語への 関心・意欲・態度	○筆者の説明の工夫に興味をもって読むことができる。	・題材や筆者の説明の工夫に興味をもって読もうとしている。
読む能力	◎筆者が自分の考えを適切に伝えるために、どのような工夫をして論を進めているのか考えることができる。 ○文章と図表を結び付け、説明の工夫や効果を考えながら読むことができる。	・筆者がどのような意図で文章を構成したのか考えながら読んでいる。【(1)ウ】 ・資料が本文のどの部分と結び付き、筆者の説明にどのような効果をもたらしているかを考えながら読んでいる。【(1)ウ】
言語についての 知識・理解・技能	○語と語の関係に気をつけて読むことで、文章の意味がとらえやすくなることに気づくことができる。	・説明的な文章を特徴づける、語句と語句の関係に気を付けて読んでいる。【(1)オ】

4 本単元に関わる資質・能力の系統性



5 学習指導計画 (全7時間)

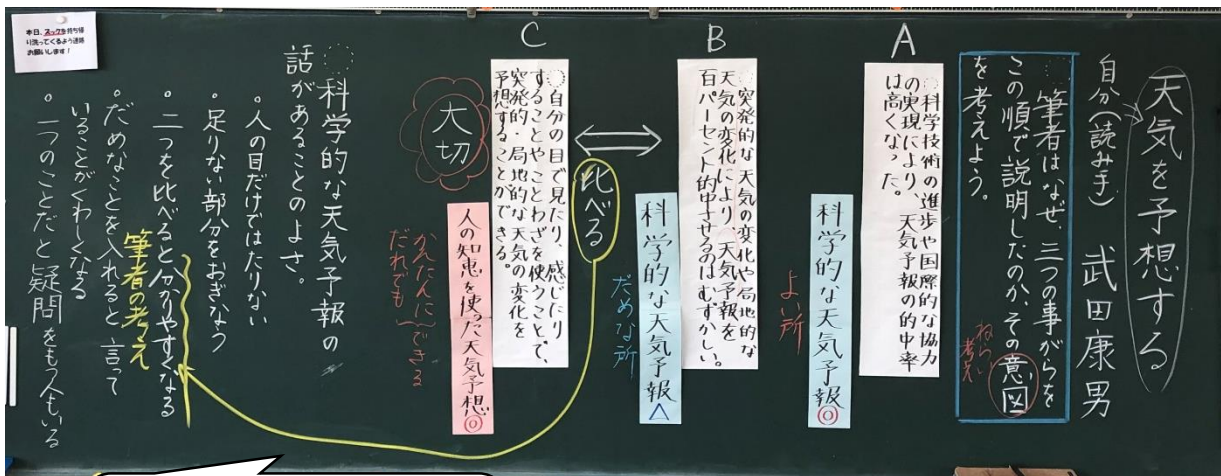
指導過程	主な学習活動	【評価規準】 (評価方法)
<p>第1次 「生き物は円柱形」と比べながら本文を読み, 説明の工夫を見つける。 単元の課題を確認し, 学習の見通しをもつ。 (2時間)</p>	<p>① 生き物は円柱形の説明の工夫と比べながら本文を読み, 説明の仕方の工夫を探す。それらの工夫が筆者の考えを明確にしているのか, その工夫にはどんな意図があるのか考える学習をすることを確認する。</p> <p>② 自分が考えたい説明の工夫を出し合い, 学習計画を作る。</p>	<p>【関】 ・「生き物は円柱形」の学習を想起しながら本文を読み, 説明の工夫を見つけようとしている。(観察・発言・ノート)</p>
<p>第2次 筆者の説明の工夫とその意図を考える。 (4時間)</p>	<p>③ 数字を用いた説明の工夫とその意図を考える。</p> <p>④ 写真や図, 表, グラフを用いた説明の工夫とその意図を考える。</p> <p>⑤ 3つの問いと答えの内容を読み, 要約する。</p> <p>⑥ 筆者がなぜ3つの事柄をこの順で説明したのかその意図とその効果を考える。(本時)</p>	<p>【読】 ・数字を用いて説明することの効果や意図を考えている。</p> <p>・叙述と対応させながら, 資料を用いた意図を考えている。 (発言・ノート)</p> <p>【言】 ・説明的な文章を特徴付ける, 語句と語句の関係に気を付けて読んでいる。(発言・ノート)</p> <p>【読】 ・筆者が3つの事柄をこの順序で述べている意図とその効果を考えている。 (発言・ノート)</p>
<p>第3次 筆者の説明の工夫と論の進め方の意図について, 自分の考えをまとめる。(1時間)</p>	<p>⑦ 筆者の説明の仕方の工夫や論の進め方の意図について自分の考えをまとめる。見つけた工夫を自分だったらどんな場面でそれらを活用できそうか考え, 交流する。</p>	<p>【言】 ・学習したことをもとに, 自分の考えをまとめている。 (発言・ノート)</p>

6 本時の指導 (6/7)

- (1) 目標 筆者がなぜ3つの事柄をこの順で説明したのかその意図とその効果を考える。
 (2) 展開

段階	学習活動	学習内容	指導上の留意点	◇評価 ・準備物
つかむ 5分	1 前時を想起する。		つかむ ・前時までにまとめた3つの事柄の要約を振り返る。 ・本時では筆者が3つの事柄をこの順で説明した意図とその効果を考えることを確認する。	・要約をまとめた模造紙
	2 課題を把握する。			
	筆者は、なぜ3つの事柄をこの順で説明したのか、その意図 と効果 を考えよう。			
きく・あ らわす 30分	3 課題を解決する (1)「科学的な天気予報」と「人間の目による天気予想」、筆者はどちらの大切さを伝えたいのか考える。 (2)3つの事柄は必要か考える。 (3)「科学的な天気予報」の話があることのよさを考える。 (4)筆者がこの順序で論を進めた意図を考える。	○科学的な天気予報と、人間の目による天気予報の対比 ○筆者の論の進め方の工夫とその意図をとらえること	・結論を根拠に自分の考えをノートにまとめ、全体で交流する。 きく・あ らわす ・「人間の目による天気予想」が大切だと考える児童が多いことが予想される。3つ目の事柄だけでいいのではないかと投げかける。 ・説明の仕方の工夫として、二つのことを対立させることにより、一方のよさを際立たせることができることや、読み手の興味をひくことができることをまとめ、価値付ける。	◇筆者が3つの事柄をこの順序で述べている意図 とその効果 を考えている。 (観察・発言・ノート)
いかす 5分	4 学習の振り返りをする。 (1) 本時の学習で学んだことを振り返る。 (2) 次時以降の学習を確かめる。		いかす ・筆者の論の進め方の工夫や、友だちから学んだことを振り返り、記述する。	

<p>天気予想する</p> <p>武田 康夫</p> <p>筆者はなぜ三つの事柄をこの順で説明したのか、その意図を考えよう。</p>	<p>1 科学技術の進歩や国際的な協力の実現により、的中率が高くなった。</p> <p>科学的な天気予報◎</p>	<p>2 突発的・局地的な天気の変化により天気予報を百パーセントの中させることは難しい。</p> <p>科学的な天気予報×</p>	<p>3 自分の目で見たり、感じたり、ことわざにより、突発的・局地的な天気の変化を予想することができる。</p> <p>人間の目による天気予想◎</p>	<p>科学的な天気予報の話があることによる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味をひくことができる。 ・説得力が増す。 ・比べることで自分の意見がよりはっきりする。 ・筆者の考えが分かりやすくなる。 <p>確かに○○だ。しかし、だ。</p> <p>↓反対のことをのべることで、自分の考えをよりはっきり伝える効果がある。</p>
--	---	---	--	---



2つの異なることを比較することで、筆者の考えが伝わりやすくなっていることを捉える。